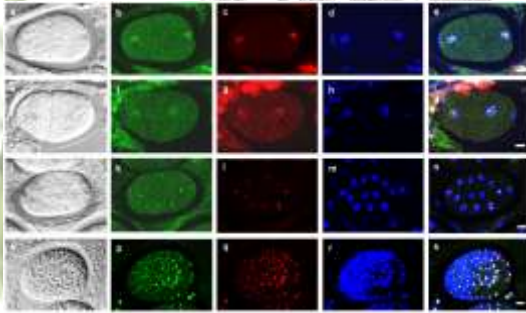


Researcher's Eye

Invitation to Academia

ncRNAから
新たな遺伝子ネットワークを見つかる

生物の設計図であるゲノムにはタンパク質遺伝子とともに多数のncRNA遺伝子が存在します。私たちはモデル生物「線虫」を材料に、ncRNAの生理機能や分子機能を明らかにし、新たな遺伝子ネットワークの存在や細胞内システムを発見すること、それらの仕組みを理解することを目指しています。



線虫の受精卵におけるncRNAの発現と局在



線虫 (*Caenorhabditis elegans*)

線虫は多細胞生物ではじめてゲノム配列が決定されたモデル生物です。約1,000個の細胞からなる1mm程度の動物ですが、ヒトに共通する多くの遺伝子や体のしくみを持っています。線虫を用いた研究がきっかけとなって、ヒトの病気に関する遺伝子やその働き、新たな細胞システムがこれまでいくつも明らかにされてきました。2002年、2006年それぞれのノーベル医学生理学賞は線虫を対象とした研究に授与されたものです。ちなみに、2008年に下村脩博士がノーベル化学賞を受賞したGFP研究でも、初めてGFPを導入した生物として線虫は活躍し

牛田 千里

農学生命科学部 准教授 分子生物学

研究室の風景



Message

自分を信じて、やりたいことを思いっきりやる！やりたいことがまだ見つからないときは、とりあえず目の前のことを全力で。自ずと道は開けます。がんばれ！

My Life with Research



生き物には何かと教わることが多いです。線虫、息子、学生と。。。